

資源ごみの収集回数について

第1回丸瀬布地域まちづくり会議において、資源ごみの収集回数が遠軽地域は週1回に対し、丸瀬布地域は月2回になっているとの指摘がありました。今回、話題に上がった資源ごみを例に、遠軽地域と丸瀬布地域の収集がなぜ違うのか説明します。

○排出量の違い

1週間に排出される資源ごみの排出量は、次のとおりで10倍以上の開きがあります。

遠軽地域 約 11トン

丸瀬布地域 約0.9トン

○1回の収集量はそれほど変わらない

両地域の1回当たりの収集量はそれほど違いがありませんので、トラックの稼働日数でこの差を埋めることとなります。積載量などに多少の差はありますが、どちらも資源ごみ収集用のトラックは1台が稼働し、1回当たりの平均的収集量を2.2*トンとして考えると、稼働日数は次のとおりとなります。

遠軽地域 $11\text{トン} \div 2.2\text{トン} = 5\text{日/週}$ （5区域に分割し週1回）

丸瀬布地域 $0.9\text{トン} \div 2.2\text{トン} = 0.4\text{日/週}$ （2週間に1回）

* 収集車両は3～4トン程度の最大積載量となっていますが、かさ張る資源ごみを積むと平均的に2.2トン程度の積載量となっています。

○収集体制の効率性

ごみ収集については、地域ごとに委託契約を結んでいます。丸瀬布地域の方が収集用トラックの稼働日数が少ないので、人手を確保すれば収集回数を増やすことは可能かもしれませんが、しかしながら、2週間に1度でちょうどトラック1台分ぐらいの収集量となっている現状を考えると、空荷によるロスが生じ、効率が下がってしまいます。

少々単純化して説明していますが、以上のような理由により収集回数に違いが生じています。どうぞご理解をお願いします。

【お問い合わせ先】遠軽町民生部住民生活課 TEL42-4812